

2026 年度国際大会派遣について

2026 年度国際大会の派遣基準及び派遣予定大会を以下と定める。

【2026 年度国際大会派遣標準記録】

女子		男子		
大学生 派遣記録	日本代表 派遣記録	種目	日本代表 派遣記録	大学生 派遣記録
20.31	18.81	50m SF	16.53	17.48
45.60	42.26	100m SF	37.57	40.51
1:42.38	1:35.63	200m SF	1:27.28	1:33.49
3:48.32	3:35.08	400m SF	3:14.71	3:26.98
8:03.40	7:35.44	800m SF	6:55.38	7:19.18
	14:34.95	1500m SF	13:33.22	
18.39	17.00	50m AP	15.27	16.24
23.78	22.89	50m BF	19.74	20.98
52.39	50.39	100m BF	44.45	46.09
1:54.76	1:53.15	200m BF	1:39.80	1:44.18
4:05.10	3:56.93	400m BF	3:40.36	3:43.89
	1:15.50	4 × 50m SF Relay	1:06.14	
	2:51.62	4 × 100m SF Relay	2:32.16	
	6:28.52	4 × 200m SF Relay	5:59.88	

混合	日本代表 派遣記録
BF Relay 4 × 100m	3:11.12

【2026 年度派遣予定の国際大会】

① 世界選手権

大会日程：6月22日～29日

開催場所：韓国（仁川）

選考大会：第38回フィンスイミング日本選手権大会（2026年5月9日～10日開催予定）

参考大会：第15回フィンスイミング ジャパンオープンマスターズ大会（2026年3月22日）

第22回フィンスイミング日本学生選手権大会（2026年3月22日）

② 2026 FISU World University Championship Finswimming

大会日程：2026年4月10日～11日

開催場所：エジプト（シャルム・エル・シェイク）

選考大会：第22回関東オープンフィンスイミング大会（2025年10月開催済）

③ ワールドカップシリーズ

大会日程：未定（9月～11月に開催される大会に派遣予定）

開催場所：未定

選考大会：第38回フィンスイミング日本選手権大会（2026年5月9日～10日開催予定）

参考大会：第15回フィンスイミング ジャパンオープンマスターズ大会（2026年3月22日）

第22回フィンスイミング日本学生選手権大会（2026年3月22日）

④ ジュニア アジア選手権

大会日程：未定

開催場所：未定

選考大会：第38回フィンスイミング日本選手権大会（2026年5月9日～10日開催予定）

参考大会：第15回フィンスイミング ジャパンオープンマスターズ大会（2026年3月22日）

⑤ 第6回マスターズ世界選手権（派遣中止）

大会日程：6月10日～14日

開催場所：エジプト（シャルム・エル・シェイク）

選考大会：2025 フィンスイミングオープン in 福岡（2025年12月開催済）

【選考方法】

① 世界選手権選考について（日本代表）

(1) 個人種目

1. 選考大会にて派遣標準記録を突破した上位 2 名とする。
2. 同じ記録の者が複数存在するため、上位 2 名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者を選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 選考対象大会において予選・決勝のある種目は、決勝の記録を対象とする。
4. リレー種目の第 1 泳者の記録は選考対象としない。
5. 上位 2 名から派遣辞退者が出了場合は、3 位以下の派遣標準記録突破した者から順に繰り上げる。

(2) リレー種目

1) サーフィス $4 \times 50m \cdot 4 \times 100m \cdot 4 \times 200m$

1. 選考大会にて個人種目（サーフィス 50m・100m・200m）の上位 4 名の合計タイムが派遣標準記録を突破した場合に選考する。
2. 同じ記録の者が複数存在するため、上位 4 名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 上位 4 名から派遣辞退者が出了場合は 5 位以下から順に繰り上げるが、繰り上げたときに派遣標準記録をクリアできない場合、当該リレー種目への派遣可否は選考委員会にて判断する。
4. サーフィス $4 \times 50m \cdot 4 \times 100m \cdot 4 \times 200m$ リレーについては、1 項から 3 項によって決定した上位 4 名を出場予定選手として選考する。

2) 混合ビーフィン $4 \times 100m$

1. 選考大会にて CMAS ビーフィン 100m の男女上位各 2 名の合計タイムが派遣標準記録を突破した場合に選考する。
2. 同じ記録の者が複数存在するため、男女上位各 2 名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
3. 派遣辞退者が出了場合は、各々 3 位以下から順に繰り上げるが、繰り上げたときに派遣標準記録をクリアできない場合、当該リレー種目への派遣可否は選考委員会にて判断する。
4. 混合ビーフィン $4 \times 100m$ リレーについては、1 項から 3 項によって決定した男女上位各 2 名を出場予定選手として選考する。

3) 混合サーフィス・ビーフィン $4 \times 100m$

1. 世界選手権派遣選手確定後、以下の手順により選考する。
 - ① 派遣選手を対象に、本リレーへの出場意思の確認を実施する。
 - ② 出場意思を示した選手のうち、当該個人種目において選考大会もしくは参考大会において有効な記録を有する選手を対象とする。
 - ③ 対象選手の中から、記録・他個人種目・他リレー等の兼ね合いを総合的に考慮し、選考委員会にて適切と判断した選手を選考する。

*ワールドゲームズ対象種目（サーフィス $4 \times 50m \cdot 4 \times 100m$ ）を辞退した選手は、基本的に全てのリレー選考対象選手から外すものとする。

*リレー種目の選考結果は、選考大会当日には行わず、1 週間後に公表する。

*2026 年 1 月下旬に案内したアンチ・ドーピング講習に参加（録画受講も可）し、選考大会までに ADEL 受講証明書を取得済みの者を選考対象者とする。

(3) 追加選考について

1) 個人種目

当該種目にて枠が残っており、以下基準すべてを満たす選手から選考し、選考委員会が決定する。

1. 参考大会にて当該種目の派遣標準記録を突破した選手

2. 選考大会で当該種目の派遣標準記録の 99.7%以上の選手

ただし、該当選手が複数いる場合は選考大会の順位により決定する。

2) リレー種目

派遣標準記録を突破できていない場合、もしくは派遣標準記録を突破できているが辞退等で繰り上げが発生し、派遣標準記録を突破できない場合は以下基準を満たす選手から選考し、選考委員会が決定する。

1. 参考大会の結果にて追加選考選手が入ることにより、派遣標準記録を突破すること。

2. 該当種目に選考大会で出場していること。

3. 参考大会の上位より選考する

ただし、追加選考は各種目で最大 2 名までとする。

*派遣標準記録：日本代表派遣標準記録

*選考大会から世界選手権までの期間が非常にタイトなスケジュールである。選考された選手の参加可否の判断は選考発表後から 1 週間以内とする。

参加を目指している選手は、事前準備をすること。

② FISU の選考について（大学生日本代表）

2025 年 8 月発表の「2026 年度 FISU 大学世界選手権への派遣について」を参照のこと。

③ ワールドカップシリーズの選考について（大学生日本代表・日本代表）

(1) 個人種目（大学生日本代表）

1. 選考大会にて派遣標準記録を突破した上位 2 名とする。

2. 同じ記録の者が複数存在するために、上位 2 名を決定することができない場合は、選考委員会にて判断する。

3. 選考対象大会において予選・決勝のある種目は、決勝の記録を対象とする。

4. リレー種目の第 1 泳者の記録は選考対象としない。

5. 追加選考する場合は、選考大会・参考大会の結果を踏まえ選考委員会にて判断する。

*派遣標準記録：大学生派遣標準記録

(2) リレー種目（大学生日本代表）

1. 選考委員会にて判断する。

(3) 日本代表

強化を目的とし、以下の基準に基づき希望者の派遣を行う。

・2026 年世界選手権代表選手または 2026 年日本代表派遣記録突破選手

*世界選手権を辞退し、ワールドカップシリーズのみの参加は基本的に認めない。

*上記③に記載の大会以外のワールドカップシリーズへの派遣について

(1) 連盟による派遣は行わない。

(2) 個人で大会へ参加することは可能である。

(3) 参加にあたり、連盟の承認が必要となることから以下の基準に基づき、参加を認め
る。

・2025 年度及び 2026 年度日本代表選手（2025 年東西アジア選手権、2026 年世界選手権）
または日本代表派遣記録突破選手

- ④ ジュニア アジア選手権選考について (ジュニア日本代表)
別紙にて後日案内を行う。
- ⑤ マスターズ世界選手権大会選考について (マスターズ日本代表)
2025年10月発表の「2026年度マスターズ世界選手権への派遣について」を参照のこと。
規定人数に満たなかったため、派遣中止となりました。

【備考】

1. 年齢カテゴリーについて

(1) シニア

- ・18歳以上

(2) ジュニア

- ・B 16-17歳
- ・C 14-15歳
- ・D 12-13歳
- ・E 11歳以下

(3) 大学生 *日本独自のカテゴリー

- ・日本国籍を有している者。
- ・派遣大会開催年の12月31日時点で18歳以上25歳以下であること。
- ・派遣大会開催年に、大学もしくは文科省に承認された大学相当の研究機関に正式に登録した現役学生で、学位または卒業証書取得の課程にある者。

*FISU(国際大学スポーツ連盟)が関連する大会においては、FISUルールが適用される。

(4) マスターズ

- ・30歳以上で10歳毎に年齢分け(M30+ : 30-39, M40+ : 40-49, ...)

(5) 年齢は、開催大会年の12月31日現在を基準とする。

2. 参加可能な大会

- ・12歳以上 ワールドカップ
- ・14歳以上 ジュニア世界選手権、ジュニアアジア選手権または競技会
- ・15歳以上 ワールドカップ(シニアカテゴリー)、世界選手権、アジア選手権
- ・30歳以上 マスターズ世界選手権等

3. 注意点

- (1) ジュニアカテゴリーの選手はシニアカテゴリーの大会へ参加可能。
- (2) シニアカテゴリーで30歳以上の選手は、同一年にアジア選手権または世界選手権とマスターズ世界選手権の両方に参加することが可能。
- (3) 上記のいずれにおいても、同じ会場で連続して開催される大会の場合、個人種目へのエントリーは1大会のみとなる。(リレー種目は、両方の大会に出場することができる)
(例) 同じ会場で世界選手権(シニア)とマスターズ世界選手権が続けて開催される場合、個人種目への出場はどちらかのみとなる。

以上